

- ・朝 海岸と子馬の跳ねる牧場を散歩し、7:00道の駅「みついし」を後にする。



道の駅の隣は牧場で子馬が跳ね回る

- ・これから通る新冠は日本の競走馬サラブレッドの生産地。いたるところにサラブレッドの広い放牧場があり、メチャ広いひと柵の中に数頭づつ放牧されていて、常識の牧場とは全く異なるセブな生活。この中から将来億の金を稼ぎ出す馬が生まれるのだろう。



道の駅「サラブレッドロード新冠」

- ・すぐそばのサラブレッド銀座という展望台に行き見渡す限りの牧場を眼下に見る。本当に広い柵の中に数頭づつしか放牧されていない。



この山紀行で最後の宿となった道の駅「みついし」



名馬ハイセイコーの像

- ・道の駅「サラブレッドロード新冠」に寄り、名馬ハイセイコーの像を見る。駅に併設の記念館は早朝のためまだ開館していない。



メチャ広いひと柵の中に数頭づつ放牧

- ・北上途中に森林公園・判官館というのを見つけ入ってみる。山の上なのでまた放牧場が見渡せるのかと思ったが単なる森林公園で、人気の全く無い公園内の遊歩道を一回りしただけで終わった。

- ・苦小牧に向けて北上するのだが、途中「鶴川」を通る。この北海道紀行の出発点である。25日間かけて北海道を一周してきたわけだ。懐かしい道の駅「むかわ四季の館」に寄り、無事一周してきたことを報告。苦小牧の町へ着く少し前でRAV4の走行距離が50000kmになった。メーターを写真に収める。



この山紀行の出発点・道の駅「むかわ四季の館」に戻る



ちょうど走行距離も50000kmとなった

- ・苦小牧のフェリーターミナルに11時過ぎに着いてしまった。フェリーの窓口を確認すると受付は15時からという。さてこれから4時間以上どうやって時間を潰すか。

- ・まず昼飯だ。昨日アポイ岳で一緒になった山門さんに「名物ホッキカレーをぜひ食べてみたら」と教えてもらった「ぷらっと食堂街」へ行く。
- ・平日の昼間だからか人が少なくなんとなく寂しげな食堂街、その一角のちょっと離れたところにある。

- ・ちっちゃな汚い店「まるとま食堂」の前は客がいっぱいで溢れるばかり。幸いにもカウンターに一席の空きがあったのですぐ座れた。

- ・お目当てのホッキカレーを注文(800円)。ホッキ貝がいっぱいでそれなりの旨さ。満足。



ほっき貝のうまい店「まるとま食堂」

- ・他にホッキ丼などホッキを主にしたメニューがいっぱい。店を出るころは12時をまわったせいか、店の前には長蛇の列。早く来てよかった、店は14時まで。



ミートホープの倉庫

- ・食堂から出て気がついた。この食堂街の隅には今話題の「ミートホープ」の倉庫があった。

- ・問題の渦中なだけにシャッターは閉まりひっそりとしていた。

・さてあと3時間どうやって過ごすか。金があと数千円しかなく心配なのでまず銀行へ行こう。銀行を探しながら苫小牧の駅まで一回り、ホッキカレーの消化も兼ねて約一時間散歩する。さらに苫小牧公園の中にある図書館に付属するサンガーデンなる立派な建物がある。ちょっと見学(当然無料) 熱帯植物園と思わしき植物園で結構立派なつくりで世話も行き届いている。税金でこんなに趣味的なものを作ってよく苦情が無いものだと感心する。

・14時過ぎにフェリーターミナルに戻り受け待ち。昼間は天気良かったのに雨が降り出した。

17時の乗船時にはかなりの降りになった。今日は全てがタイミングよく進んだ。

・予定通り18:45 雨の降る苫小牧港を寂しく出航。

北海道山紀行もこれで終わった。



雨に煙る苫小牧港とこれから乗るフェリー

・展望サロンで遠ざかる雨に煙る北海道を見ながらコンビニの親子丼を肴にビール3缶、感慨に浸りながら。

・20時前に船室に戻ると私のベッドの前の通路で車座になって宴会を開いているやつがいる！ 島袋親父率いる若者4名の出張帰り。島袋親父が私と同じ大和成和病院で手術したとのことで話が合い意気投合、酒や泡盛をいただき歓談。

9時前に就寝・熟睡。